

Build Build Build, Link Link Link を支えるJICAの協力

2018年11月27日

**国際協力機構(JICA)
東南アジア・大洋州部 審議役
小豆澤 英豪**

フィリピンにおけるJICA

日本はフィリピンにおけるトップ二国間ドナー

対フィリピンODA ディスバースメント額 (グロス、USD mil.)

	2011	2012	2013	2014	2015
第1位	日本 (414.21)	日本 (436.60)	日本 (256.72)	日本 (473.28)	日本 (541.95)
第2位	アメリカ (150.65)	オーストラリア (173.61)	アメリカ (184.77)	アメリカ (284.29)	アメリカ (274.93)
第3位	オーストラリア (114.38)	アメリカ (154.79)	オーストラリア (143.30)	フランス (150.89)	オーストラリア (92.5)
第4位	ドイツ (44.82)	ドイツ (47.84)	カナダ (71.17)	オーストラリア (132.05)	韓国 (46.53)
第5位	韓国 (37.58)	韓国 (33.10)	イギリス (54.84)	イギリス (95.49)	ドイツ (38.42)

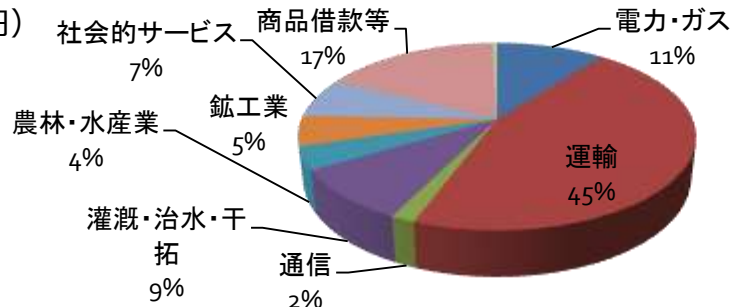
Source : OECD/Development Assistance Committee

JICA支援実績

円借款

- 2017年度実績：1,299億円（承諾額）、330億円（貸付実行）
- 2017年度案件数：3件
- 支援分野

【セクター別割合】（～2017年度までの承諾額累計:約2.8兆円）



無償資金協力

- 2017年度実績:21.5億円（供与限度額）
- 2017年度案件数:5件（G/Aベース）
- 支援分野:上水道、災害援助、教育、保健等
- 承諾額累計:2,402億円（～2017年度）

技術協力

- 2017年度実績:122.5億円
- 2017年度研修員受入:337人
- 支援分野:農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人の資源、保健・医療、社会福祉等
- 累計金額:2,423億円（～2017年度）

対フィリピン国別開発協力方針 (2018年4月)

重点分野

開発課題

持続的経済成長の ための基盤の強化

- ・ 持続的経済成長に向けたインフラ整備
- ・ 産業振興・行政能力向上
- ・ 治安・テロ対策等を通じた法執行能力強化

包摂的な成長のための 人間の安全保障の確保

- ・ 災害リスク軽減・管理
- ・ 農業生産性向上・高付加価値化
- ・ セーフティネットの整備

ミンダナオにおける 平和と開発

- ・ ミンダナオにおける平和と開発
(紛争影響地域における平和の定着)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000072244.pdf>

Part 1

マニラ首都圏・運輸交通ロードマップに基づく 各案件の進捗状況

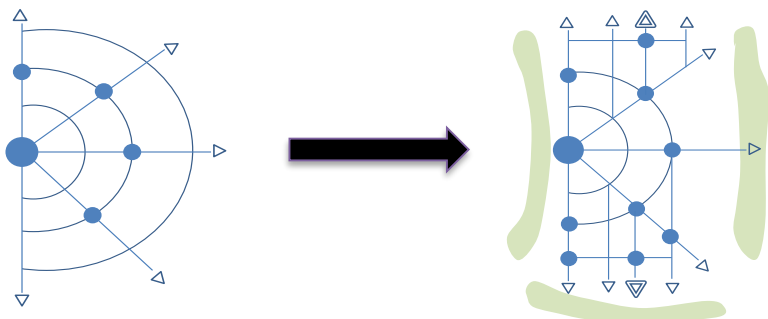
■ メトロマニラの3大都市問題

- 交通混雑
- 自然災害(洪水、地震、台風、土砂崩れ)
- 住宅、スラム、スクォッター

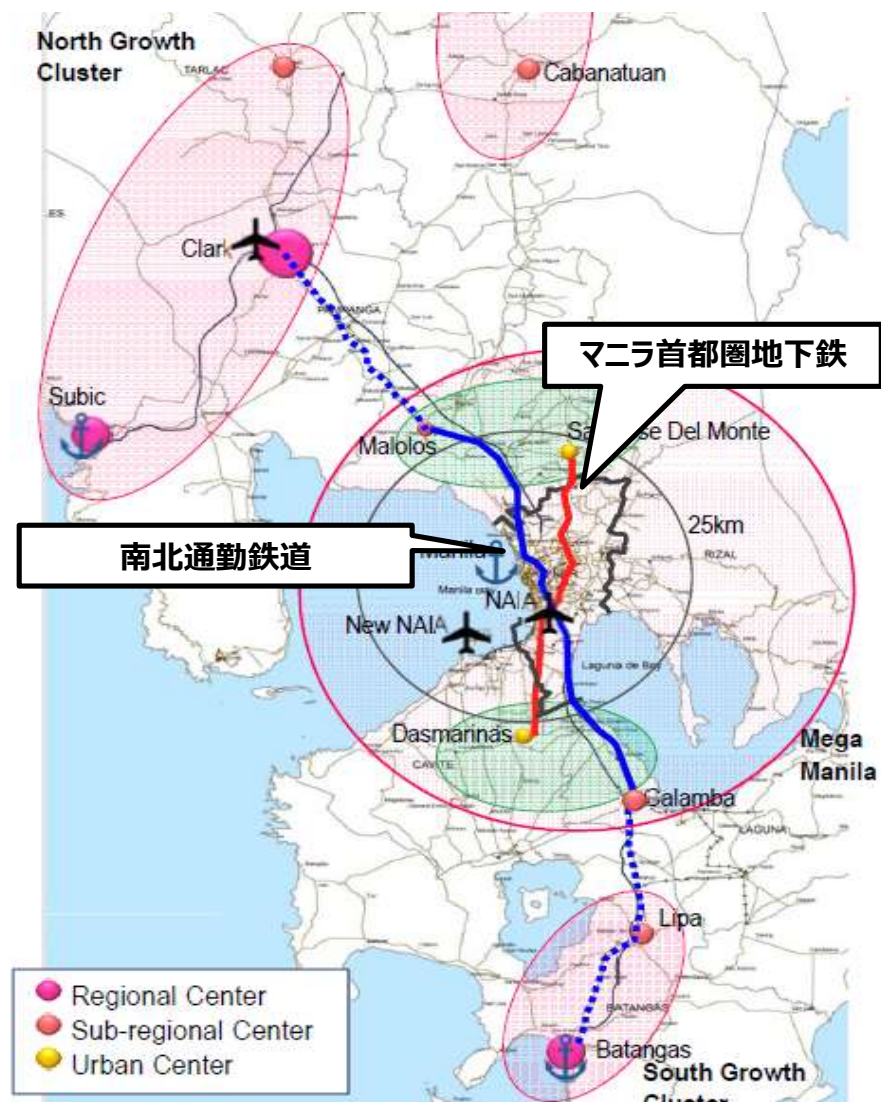


■ 都市構造の転換と地域開発

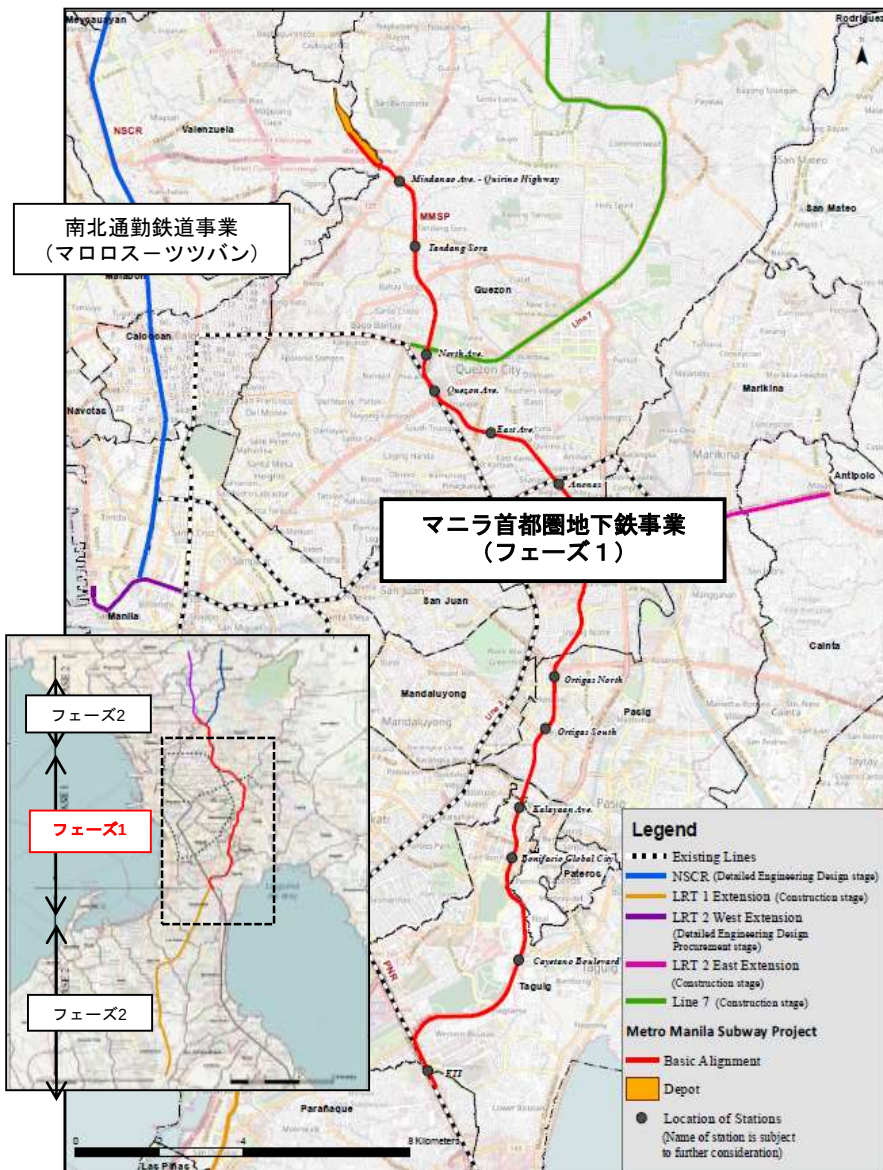
- 都市構造を放射環状から梯子状に南北交通軸(高速道路と郊外鉄道)による地域開発クラスターの一体化
- 計画的な市街地の拡大(ニュータウン)
- メトロマニラ既成市街地の改善・再開発



JICA支援による南北交通軸の整備



マニラ首都圏地下鉄事業(フェーズ1)(第一期) 円借款



【概要】

マニラ首都圏において地下鉄を整備することにより、増加する輸送需要への対応を図り、もってマニラ首都圏の深刻な交通渋滞の緩和に資するとともに、大気汚染や気候変動緩和に寄与するもの。総延長約60kmの地下鉄整備計画の内、中心部の約25kmをフェーズ1とする。

- 対象地域: マニラ首都圏
- 総事業費: 約7,935億円
- 借款額: 約5,737億円、うち輪切り第一期: 約1,045億円
- 本邦技術活用条件(STEP)適用
- 2017年11月EN調印、2018年3月LA調印



Underground construction adjacent to existing substructures



Application of water shut panels to prevent from inundation during heavy flooding

Non-railway facilities in front of and along underground stations



南北通勤鉄道事業 円借款



【概要】

マニラ首都圏における南北通勤鉄道(マロロス - ツツバン)を南方はラグナ州カランバまで、北方はパンパンガ州クラーク国際空港までそれぞれ延伸するもの。

- 対象地域: マニラ首都圏、ブラカン州
- 総事業費: 約2,879億円、借款額: 約2,204億円
- 区間: マロロス～ツツバン
- 距離: 約38km
- 本邦技術活用条件(STEP)適用
- 2015年11月EN調印、LA調印

(参考: 南北通勤鉄道事業(マロロス - ツツバン))

上記鉄道事業の更なる延伸計画として実施予定

- 対象地域: マニラ首都圏、ラグナ州、ブラカン州、パンパンガ州
- 区間: 北区間... マロロス～クラーク国際空港(CIA)
南区間... ソリス～カランバ
- 距離: 約109km(北区間=約52km、南区間=約57km)
- 本邦技術活用条件(STEP)適用予定

【ツツバン駅の完成予想図】



首都圏鉄道(MRT)3号線改修事業 円借款



【概要】

運行中断等のトラブルが相次ぐマニラ首都圏のMRT3号線を修繕することにより、鉄道の安全性、快適性を向上させ、同線の利用促進を図り、もってマニラ首都圏の深刻な交通渋滞の緩和に資するとともに、大気汚染や気候変動緩和に寄与するもの。

- 対象地域：マニラ首都圏
- 総事業費：約450億円、借款額：約380億円
- 本邦技術活用条件(STEP)適用
- 2018年11月EN署名、LA署名

(参考)

MRT3号線は、当初日本企業が保守を行っていたが、安価な保守契約を追究した結果、地場企業や外国企業が保守業務を担うこととなった。結果、適切な保守業務が実施されず、鉄道システムや車両が劣化し、運行トラブルが頻発する事態に陥った。かかる事態を受けて改めて日本企業による保守が求められており、「質の高いインフラ投資」の重要性を象徴するプロジェクト。



MRT3号線車両基地

パッシング-マリキナ川河川改修事業(Ⅳ) 円借款



【概要】

マニラ首都圏において、パッシング-マリキナ川の河川改修及び可動堰等の建設を実施することにより、フィリピンにおける政治、経済、文化の中核であるマニラ首都圏中心部の洪水被害の軽減を図るもの。日本の洪水に係る技術を用いて河川の改修などを実施すると共に、ハザードマップなどの作成支援を行う。

- 対象地域：マニラ首都圏
- 総事業費：約691億円予定
- 本邦技術活用条件(STEP)適用予定

(参考)

フェーズⅠ：1999年EN署名（11.67億円） 終了
 フェーズⅡ：2007年EN署名（85.29億円） 完工
 フェーズⅢ：2012年EN署名（118.36億円） 完工

パッシング-マリキナ川

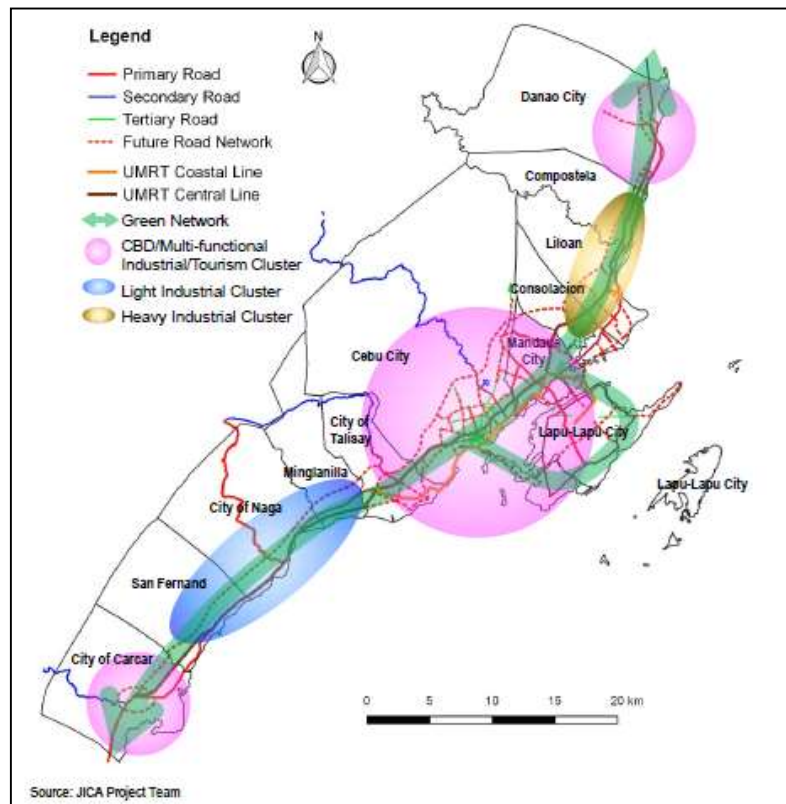


Part 2

マニラ首都圏以外の都市開発案件

メトロセブ都市交通システム開発マスタープラン

提案する2050年の都市構造プラン



【概要】

- (1) セブ都市圏において、交通混雑解消に向けた都市交通マスタープランを策定（都市公共交通、交通管理、道路ネットワークの構築等）。
- (2) 優先事業リストを作成し、個別案件の事業化を促進させる想定。

➤ 事業期間：2017年7月～2019年2月（予定）

（参考）

- ・メトロセブは人口約255万人（2010年）を擁するフィリピン第2の都市圏。人口は2050年に約500万人になると予測されており、急激な都市化、人口増加による道路交通渋滞等が顕在化している。
- ・JICAは2015年に「メトロセブ持続可能な環境都市構築のためのロードマップ策定支援調査」の結果に基づき、都市交通分野をより詳細に検討するマスタープラン調査を開始。

渋滞する
市内交通の様子



新マクタン橋建設事業(仮称) 協力準備調査

メトロセブの将来交通ネットワークと主要優先プロジェクト(案)



【概要】

セブ都市圏の渋滞緩和のため、国際空港等が立地するマクタン島とセブ島を結ぶ橋梁（道路橋）及び同橋梁に接続する沿岸道路を整備するもの。

- 対象地域: メトロセブ
- 総事業費: 約538億円

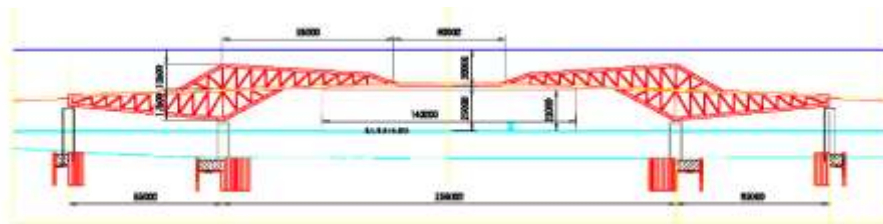
(参考)

メトロセブ都市交通システム開発マスタープランプロジェクトを策定（都市公共交通、交通管理、道路ネットワークの構築等）する中で優先事業リスト（案）を作成しており、本件事業が優先事業の一つとして提案。

新マクタン橋完成イメージ

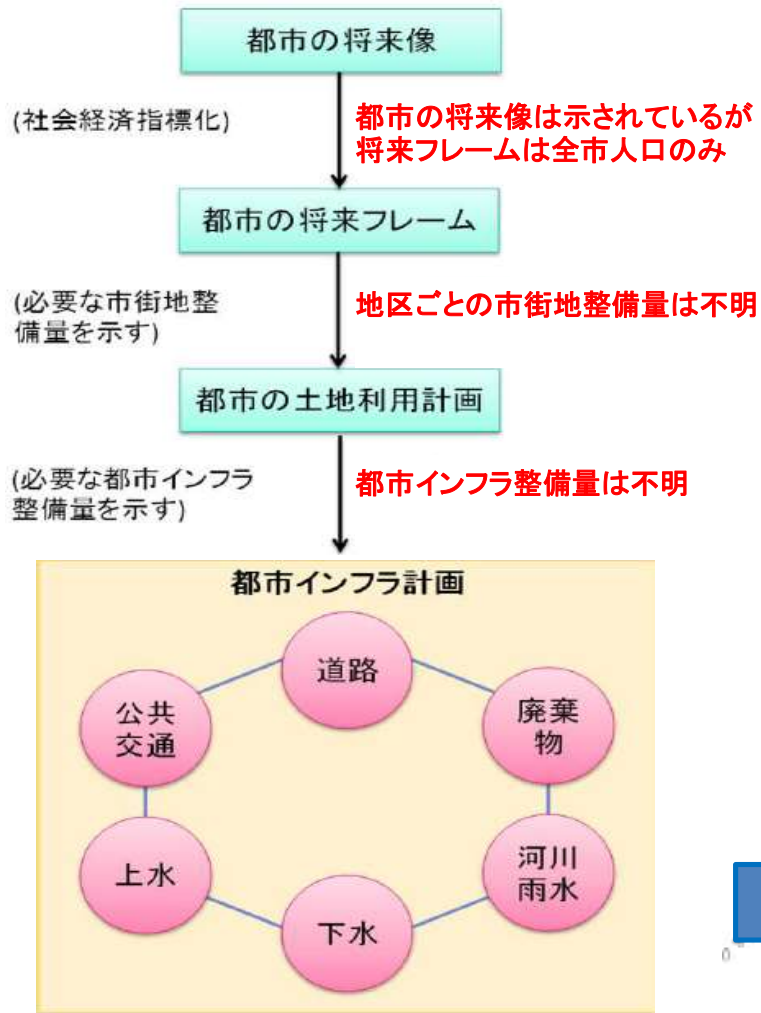


マンダウエ-マクタン橋



※上記のイメージ図は、「メトロセブ持続可能な都市環境構築のためのロードマップ 策定支援調査」報告書（2015年6月）から抜粋

ダバオ市インフラ開発計画策定・管理能力 開発計画調査型技術協力



都市開発マスタープランのあり方
(ダバオ市の現況は赤字)

【概要】

フィリピン第3の都市であるダバオ市において、(1)都市インフラ開発マスタープランの策定(分野:都市交通, 道路, 上下水道, 防災, 廃棄物等)及び(2)実施機関である国家経済開発庁とダバオ市の都市インフラ開発計画の調整, 策定, 評価, 実施に係る能力強化を行うもの。

➤ 事業期間: 2017年1月～2018年7月

マニラ

ダバオ



(Photo: Davao-Cotabato Road at Matina Crossing)

ダバオ治水マスタープラン

【概要】

・事業目的・内容：ダバオ川，マティナ川，タモロ川における洪水対策マスタープランの策定及び優先プロジェクトに対するフィージビリティスタディの実施とそれに必要な関係機関のキャパシティビルディングを行うことにより，ダバオ地域における洪水対策能力の向上に寄与するもの。

【今後の予定】

2018年11月：調査開始

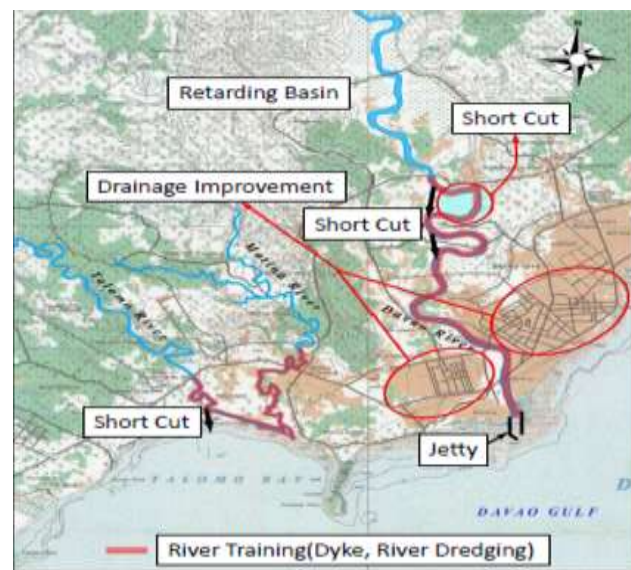
2019年12月：調査終了予定

**ダバオ川
流域**

**マティナ川
流域**

ダバオ市中心部

**タモロ川
流域**



(*)M/Pの中で、護岸・堤防道路の整備、市内排水対策、防波堤等を検討予定。

Part 3

ミンダナオ支援

ミンダナオ支援 平和と開発



マラウィ市の復旧・復興

- 無償：マラウィ市及び周辺地域における復旧・復興支援計画（2018）
- 無償：マラウィ復興のための住居建設及び生活支援を通じたコミュニティ開発計画（2018）
- 無償：経済社会開発計画（2017）
- 無償：緊急無償（水・衛生設備、食糧、その他）（2017）

ガバナンス支援

2003年からミンダナオ和平プロセスをコタバト滞在の専門家が支援。

- 技協：パンサモロ包括的能力向上プロジェクト（2013）
- 技協：ARMM行政能力向上プロジェクト（2008）
- 技協：ARMM地域開発シニアアドバイザー（2003）

公共サービス改善、コミュニティ開発

- 調査：マリトボグーマリダガオ灌漑計画準備調査（フェーズ2）（2017）
- 有償：アグリビジネス振興・平和構築・経済成長促進事業

HARVEST（2017）

- 技協：ムスリム・ミンダナオ自治地域稲作中心営農技術普及プロジェクト（2012）
- 技協：アグリビジネス開発短期アドバイザー（2012）
- 技協：ARMMビジネス・ディベロップメント・サービス短期アドバイザー（2012）
- 技協：ARMM地場産業振興調査（2012）
- 有償：マリトボグーマリダガオ灌漑事業（1990）

社会経済開発

- 調査：ミンダナオ紛争影響地域道路ネットワーク整備計画準備調査（2017）
- 無償：パンサモロ地域配電網機材整備計画（2017）
- 無償：ミンダナオの紛争影響地域におけるコミュニティ開発計画（2015）
- 技協：ミンダナオの平和と開発のための地形図作成プロジェクト（2010）
- 有償：中部ミンダナオ道路整備事業（2003）
- 有償：ムスリム・ミンダナオ自治地域平和・開発社会基金事業（2003）
- 有償：メトロイリガン産業拠点インフラ整備事業（1998）
- 無償：西部ミンダナオ地区道路建設機材整備計画（1998）
- 有償：電力網整備事業（1995）
- 草の根無償：コミュニティ学校、保健所、給水施設の建設（92箇所）（2006～2016）

社会経済インフラの整備

主要都市の整備

フトウアン

- 有償：アグサン川下流域開発（洪水制御II）（1997）

カガヤン・デ・オロ

- 調査：カガヤン・デ・オロ川洪水予警報システム整備計画準備調査（2017）
- 技協：地方都市水道整備事業（フェーズⅢ）災害復旧支援プロジェクト（2012）
- 有償：洪水リスク管理事業（タゴロアン川2012、カガヤン・デ・オロ2015）
- 有償：ミンダナオコンテナ埠頭建設計画（2000）
- 有償：地方都市水道整備事業（フェーズⅢ）（1994）

ダバオ

- 技協：ダバオ市治水対策マスタープラン策定プロジェクト（2018）
- 技協：ダバオ市インフラ開発計画策定・管理能力向上プロジェクト（2017）
- 技協：全国産業クラスター能力向上プロジェクト（2012）
- 無償：ダバオ市エネルギー回収型廃棄物処理施設整備計画（2018）
- 無償：ダバオメディカルセンター整備計画（2010）

その他

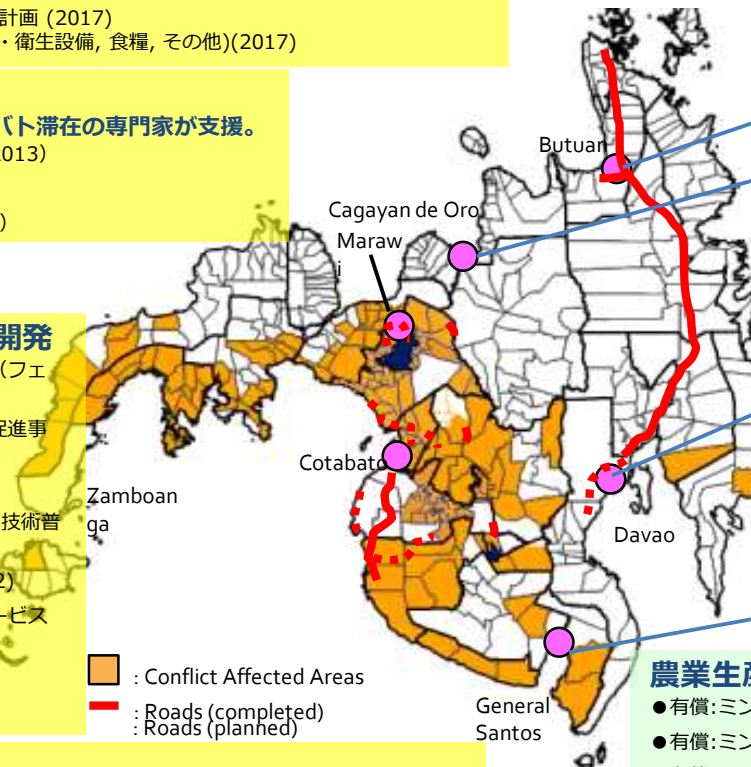
- 無償：カミギン島防災復旧計画（2010）
- 有償：南ミンダナオ沿岸地域環境保全事業（1998）

農業生産に資する協力

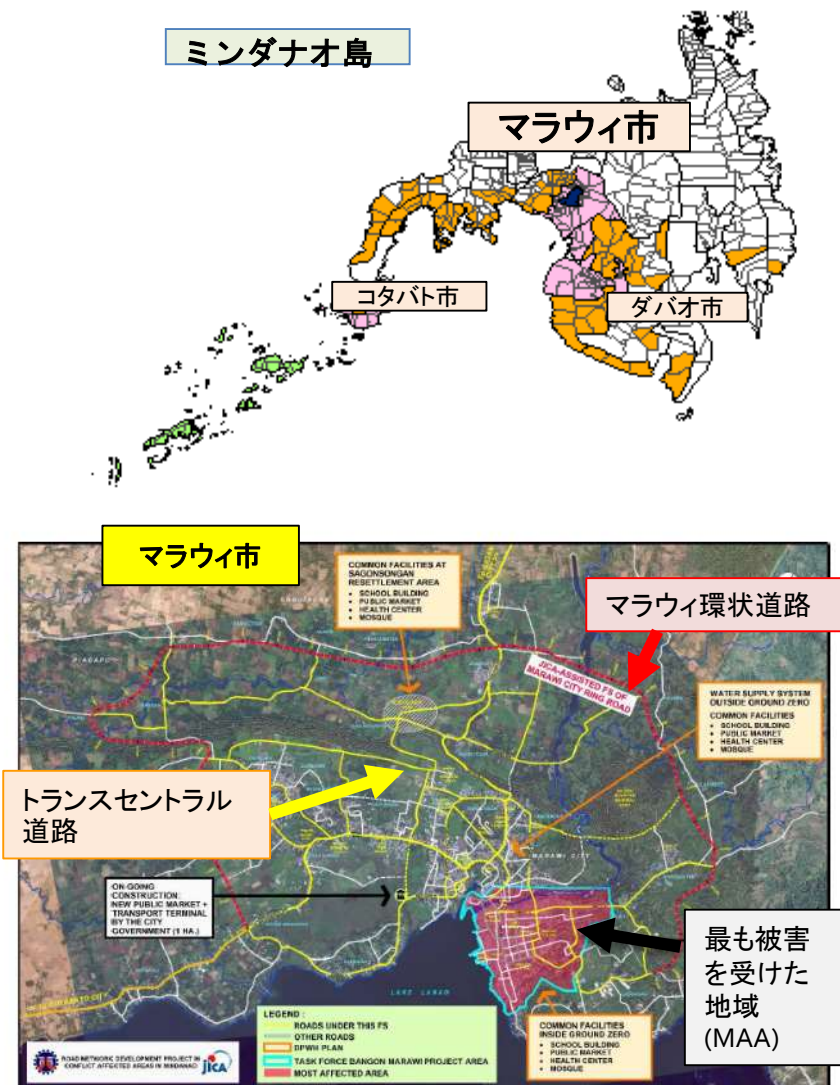
- 有償：ミンダナオ持続的農地改革・農村開発事業（2012）
- 有償：ミンダナオ持続的入植地開発事業（2001）
- 有償：アグサン川下流域灌漑事業（1995）
- 有償：漁港建設事業（II）（1992）
- 無償：台風被災地公共市場改修計画（1993）

主要都市とパンサモロ地域の連結性の強化

- 有償：ダバオ市バイパス建設事業（2015）
- 有償：第二マグサイサイ橋・バイパス道路建設事業（2000）
- 有償：日比友好道路修復（ミンダナオ島区画）事業（I）/（II）（1997）/（1999）
- 有償：地方道路網整備事業（II）/（III）（1995）/（2001）



マラウィ市及び周辺地域における復旧・復興支援計画 財政支援無償



【概要】

ミンダナオ島マラウィ市にて発生した戦闘の被害を受けた人々を支援するために、マラウィ市及びその周辺地域において復旧・復興ニーズの高い社会基盤（道路等）の修復に対し財政支援をするもの。

- 対象地域: ミンダナオ島南ラナオ州マラウィ市及びその周辺地域
- 協力額: 約20億円
- 2018年3月EN調印、2018年5月GA調印

(参考)

2017年5月、フィリピン国軍とイスラム過激派組織マウテ・グループとの武力衝突がマラウィ市にて発生。

2017年10月、戦闘終結。日比首脳会談にて、安倍総理は「マラウィ市及び、その周辺の復旧・復興に最大限に支援を行う」ことを表明。

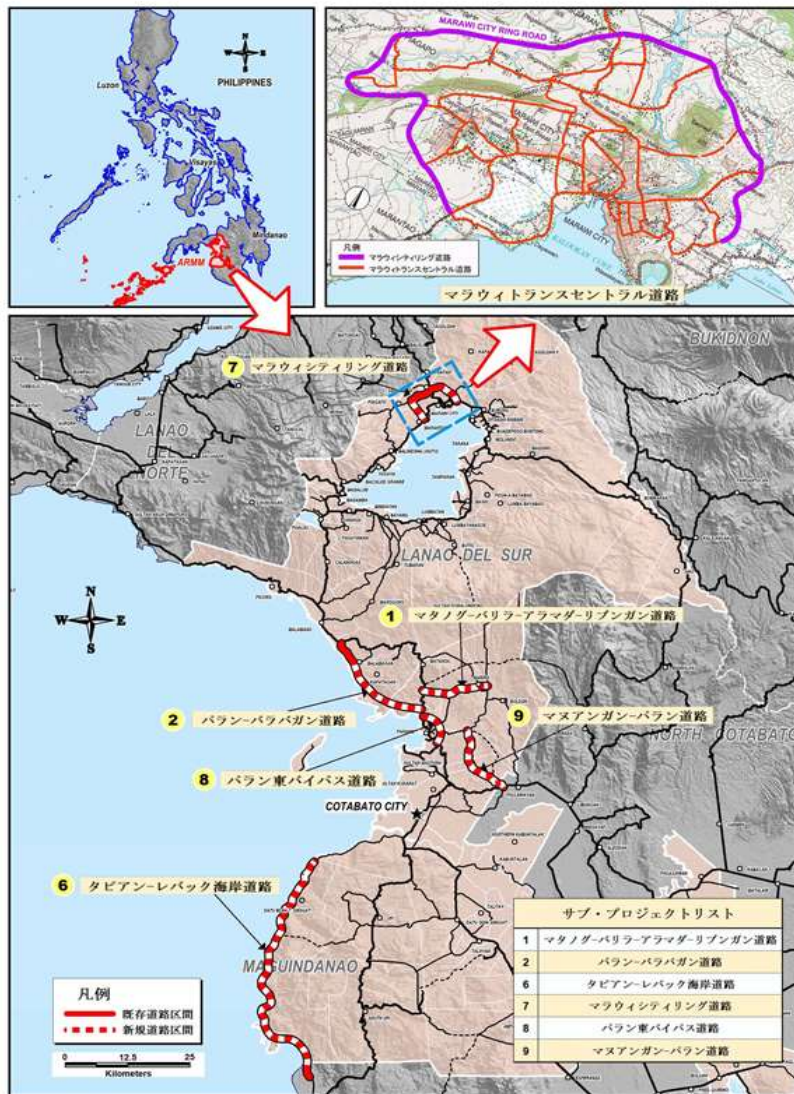


握手を交わす両首脳
(写真提供: 内閣広報室)



2017年10月日比首脳会談

ミンダナオ紛争影響地域道路ネットワーク整備事業 協力準備調査



PROJECT LOCATION MAP

【概要】

ミンダナオ紛争影響地域において、都市間幹線道路への接続道路等の新設・改修を実施することにより、交通・物流の円滑化及び地域内外との連結性強化を図り、もって同地域の経済活性化及び貧困削減、並びに平和の定着に寄与するもの。

➤ 対象地域：ミンダナオ紛争影響地域（南ラナオ州、マギンダナオ州及びスルタン・クダラット州の一部）



DPWH次官、MILF議長間での本案件会議風景